

秋田県立大学

『森林科学セミナー』のご案内

【キーワード】炭素蓄積・攪乱・亜高山帯・生物群集

秋田県立大学 森林科学研究室では、月に一度『森林科学セミナー』を行っています。大学内外の方を講師としてお招きし、様々なトピックスについて興味深いお話をさせていただき、多数の参加者の方々と共に議論を重ねたいと思います。

今回は、東京大学 農学生命科学研究科 助教 鈴木 智之さん から、

「過去の大規模攪乱の爪痕を探る：伊勢湾台風が亜高山帯生態系に及ぼした長期的影響」をテーマにお話ししていただきます。

「森」・「自然」に興味のある方ならどなたでも参加でき、自由に議論できる場にしたいと考えております。多数の方のご参加をお待ちしています。

10月18日（金） 13：00－14：30

※通常と開催時間・開催場所が異なります。ご注意ください。

「過去の大規模攪乱の爪痕を探る
：伊勢湾台風が亜高山帯生態系に及ぼした長期的影響」

場所：秋田県立大学 大学院棟セミナー室（M109教室）

演者：鈴木 智之（東京大学 農学生命科学研究科 助教）

北方林や亜高山帯林は、強風に対して脆弱で50年から100年に一度の頻度で数百ha規模で一斉に風倒するような大規模攪乱を受ける場所が多くみられる。このような大規模攪乱は亜高山生態系に対して景観スケールで長期的な影響を及ぼす。本セミナーでは、1959年に日本中部に大規模な風倒被害をもたらした伊勢湾台風を例に、大規模風倒が亜高山帯生態系に及ぼした長期的影響について紹介する。特に、北八ヶ岳の大規模風倒地で、風倒後の林分成長、風倒木の搬出が炭素蓄積や枯死木を利用する生物群集に与える影響について注目する。

参加自由：来聴大歓迎！（事前申し込み不要：参加無料）

問い合わせ先：秋田県立大学 生物環境科学科 森林科学研究室

〒010-0195 秋田市下新城の中野

TEL：018-872-1618(坂田) -1608(星崎) -1619(蒔田)

FAX：018-872-1677

E-mail：sakata@akita-pu.ac.jp

<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbe/forest/>

